

中学校 第1学年	題材名	箏に親しもう「さくらさくら」上級		
	教材名	「さくらさくら」上級（日本古謡、編曲：長谷川慎）	時間	4時間

■題材の目標

箏の演奏を通して日本の伝統音楽の特徴を捉え、音色・調子・速度・間などを感受しながら「さくらさくら」を箏独特の奏法を織り交ぜて思いや意図を持って表現することを目指す。また、唱歌を歌うことにより箏曲の伝統的な学習法を知り、箏の音色や奏法といった特徴についてより深い理解を促すことがねらいである。

■学習指導要領との関連

A 表現 (2) 器楽 ア 曲想を感じ取り、表現を工夫して演奏すること。

イ 楽器の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏すること。

【共通事項】音色、速度、旋律、強弱、間

■教材観

「さくらさくら」上級（日本古謡、編曲：長谷川慎）

日本で古くから親しまれてきた歌で、明治21年に出版された箏の練習曲集「箏曲集」に掲載され広く知られるようになった。小学校第4学年の歌唱共通教材としても取り扱われており、箏の代表的な調弦である平調子で日本らしさを感じられる楽曲である。第七弦から弾き始め、隣り合う弦を順に弾いて無理なく演奏できるようになっており、初めて箏に触れる生徒でも取り組みやすい教材である。この「上級」は、箏らしい「コロリン」や「押し手」「流し爪」といった奏法も織り込まれた、華やかなアレンジとなっている。

■ヤマハデジタル音楽教材「箏授業」を使用した指導計画（4時間）

	学習内容	めあて	指導上の留意事項
第一時	<ul style="list-style-type: none"> ■箏の演奏を鑑賞する。 ■箏の基本的な知識について学ぶ。 ■「さくらさくら」の唱歌を歌う。 	箏の歴史・構造・音色について学び、日本の伝統音楽の特徴を学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤマハデジタル音楽教材「箏授業」（以下「デジタル教材」と記載）を使用して「六段の調」を鑑賞させ、箏の音色や箏曲の特徴を感じ取らせるとともに、箏への興味関心を喚起させる。 ・デジタル教材で箏の歴史や各部の名称について確認し、基本的な知識について学習させる。時間があれば、箏の種類、調子についても触れる。 ・デジタル教材で唱歌について学習させ、実際に「さくらさくら」の唱歌を歌わせる。
第二時	<ul style="list-style-type: none"> ■箏を演奏するために必要な基礎を学ぶ。 ■「さくらさくら」の前半を演奏する。 	箏を演奏するための基礎知識を学び、「さくらさくら」の前半を弾いてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を提示しながら楽譜の読み方について学習させる。 ・デジタル教材で爪のはめ方を学習させる。 ・箏を演奏するために必要な座り方・構え方をデジタル教材で学習させる。 ・基本奏法をデジタル教材で学習させ、「さくらさくら」の前半を弾かせる。また演奏を通じて「コロリン」について学習させる。
第三時	<ul style="list-style-type: none"> ■「さくらさくら」の後半部分を演奏する。 ■「押し手」「流し爪」について学ぶ。 ■「さくらさくら」を1曲通して演奏する。 	箏の奏法を学び、「さくらさくら」を通して弾いてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・「さくらさくら」の後半を演奏させ、箏の特徴的な奏法である「押し手」「流し爪」についてデジタル教材で学習させる。 ・大型モニターにデジタル教材を映し、「さくらさくら」を1曲通して弾かせることで、曲の全体感をつかませるとともに苦手箇所を意識させる。 ・各自のタブレット端末でデジタル教材を見ながら自分の苦手箇所を練習させる。

第四時	<p>■より良い音色を出すために表現の工夫をす</p> <p>■「さくらさくら」の演奏をグループで聴き合い評価し合う。</p>	<p>より良い音色や響きを出すための工夫をしながら、「さくらさくら」を演奏しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で「さくらさくら」の模範演奏を鑑賞させ、自分の演奏との違いに気付かせる。 ・模範演奏のような箏らしい音色に近づけるために、個人練習を通じて表現の工夫をさせる。必要に応じて、各自のタブレット端末でデジタル教材を参照させる。 ・各グループで「さくらさくら」を通して演奏させ、相互評価させる。
-----	---	--	--

■実際の指導

[教材]

「さくらさくら」上級 (日本古謡、編曲：長谷川慎)

[授業スタイル]

一斉学習、個別学習又は協働学習 (2~3 人に箏が一面の場合)

[使用する ICT 機器]

大型モニター、教師用 PC (もしくはタブレット端末)、ヤマハデジタル音楽教材「箏授業」

※生徒用タブレット端末があると個別学習 (協働学習) が可能

[主な ICT 活用とそのねらい]

- ✓ デジタル教材を使用することにより、向こう指の置き方や親指の弾き方など、従来では分かりにくかったポイントを視覚的に理解することができる。テンポも変更できるため、ゆっくりとしたテンポから徐々に速度を上げて練習することもできる。
- ✓ 大型モニターにデジタル教材を映しながらそれに合わせて生徒に演奏させることにより、教師が机間を回り生徒のサポートをしたり評価したりすることができる。

[展開]

第一時

- ・学習内容：箏の鑑賞を通じてその特徴を感じ取った上で、箏の基本的な知識について学ぶ。
- ・めあて：箏の歴史・構造・音色について学び、日本の伝統音楽の特徴を学ぼう
- ・配布物：ワークシート「箏に親しもう 1」(ファイル名：k02_sheet1)

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
50分	<p>■単元のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">箏に親しもう「さくらさくら」上級</div> <p>■生徒たちの箏に対する興味・関心や演奏経験 (又は演奏を聴いた経験) を確認する。</p> <p>■本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">箏の歴史・構造・音色について学び、日本の伝統音楽の特徴を学ぼう</div>		
展開 40分	<p>■礼儀について学習する。</p> <p>■「六段の調」の演奏動画を見て、音色や響き、旋律や奏法、間や速度といった箏の特徴について気付いたことをワークシートに記入する。</p> <p>■箏の歴史について学習する。 (時間があれば、同類の楽器についても学習する。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・弾く前の準備 - 礼儀について ・演奏を聴いてみよう - 六段の調 ・知識編 - 箏の歴史 (・知識編 - 同類の楽器) 	<p>★教師用 PC (又はタブレット端末) を大型モニターとつないで提示。</p>

	<p>■箏の構造と各部の名称について学習し、ワークシートに記入する。 (時間があれば、調子についても学習する。)</p> <p>■唱歌について学習する。</p> <p>■「さくらさくら」上級の唱歌を全員で歌う。</p>	<p>・弾く前の準備 - 構造と各部の名称 (・弾く前の準備 - 調子について)</p> <p>・弾く前の準備 - 唱歌について</p> <p>・「さくらさくら」上級 - 唱歌を歌ってみよう</p>	
まとめ 5分	<p>■ワークシートに今日の授業の自己評価と感想を記入する。</p>		

第二時

- ・学習内容：箏の演奏に関する基礎知識の学習し、「さくらさくら」の前半を演奏する。
- ・めあて：箏を演奏するための基礎知識を学び、「さくらさくら」の前半を弾いてみよう
- ・配布物：ワークシート「箏に親しもう2」(ファイル名：k02_sheet2)

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
導入 5分	<p>■本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>箏を演奏するための基礎知識を学び、 「さくらさくら」の前半を弾いてみよう</p> </div> <p>■復習として、「さくらさくら」上級の唱歌を歌う。</p>	<p>・「さくらさくら」上級 - 唱歌を歌ってみようの「練習」画面</p>	<p>★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。</p>
50分 展開 40分	<p>■楽譜の読み方について学習する。</p> <p>■爪のはめ方について学習する。</p> <p>■箏を演奏するために必要な座り方・構え方を学習する。</p> <p>■基本の奏法を学習する。 (・時間があれば、中指の奏法についても学習する。)</p> <p>・親指の奏法・1音ずつ</p> <p>・親指の奏法・3音</p> <p>・弾く位置について</p>	<p>・弾く前の準備 - 楽譜の読み方について</p> <p>・弾く前の準備 - 爪について</p> <p>・弾く前の準備 - 座り方・構え方と姿勢</p> <p>(・基本的な奏法 - 箏に触ってみよう(中指の奏法))</p> <p>・基本的な奏法 - 基本の弾き方(親指の奏法・1音ずつ)</p> <p>・基本的な奏法 - 基本の弾き方(親指の奏法・3音)</p> <p>・基本的な奏法 - 弾く位置について</p>	<p>★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。</p> <p>★座り方・構え方は重要なので、適宜振り返って学習するとよい。</p> <p>★充実した音色が出せるように練習させる。</p> <p>★弾く位置によって音色が変わることを意識させる。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ■「さくらさくら」上級の前半を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「さくら さくら」 ・「のやまもさとも」 ・「みわたすかぎり」 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さくらさくら」上級 <ul style="list-style-type: none"> - 「さくら さくら」 ・「さくらさくら」上級 <ul style="list-style-type: none"> - 「のやまもさとも」 ・「さくらさくら」上級 <ul style="list-style-type: none"> - 「みわたすかぎり」 	<ul style="list-style-type: none"> ★一面の箏を複数の生徒で使用している場合、箏を演奏していない生徒には唱歌を歌わせる。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ■「さくらさくら」上級の前半を通して演奏する。 ■ワークシートに今日の授業の自己評価と課題を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さくらさくら」上級 - 1 曲通して弾いてみようの「練習」画面（前半のみ使用） 	<ul style="list-style-type: none"> ★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。

第三時

- ・学習内容：「さくらさくら」の演奏を通じて、箏のいろいろな奏法について学ぶ。
- ・めあて：箏の奏法を学び、「さくらさくら」を通して弾いてみよう
- ・配布物：第二時で配布したワークシート「箏に親しもう2」を引き続き使用。

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ■本時の学習のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 箏の奏法を学び、 「さくらさくら」を通して弾いてみよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ■復習として「さくらさくら」上級の前半を演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さくらさくら」上級 - 1 曲通して弾いてみようの「練習」画面（前半のみ使用） 	<ul style="list-style-type: none"> ★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。
50分 展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ■「さくらさくら」上級の後半を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「かすみかくもか」 (いろいろな奏法の「押し手」を確認する。) ・「あさになにおう」 ・「さくら さくら (2回目)」 ・「はなざかり」 (いろいろな奏法の「流し爪」を確認する。) ■「さくらさくら」上級をゆっくりとしたテンポで通して演奏する。 ■各自タブレット端末のデジタル教材を使って、自分の苦手な箇所を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さくらさくら」上級 <ul style="list-style-type: none"> - 「かすみかくもか」 ・いろいろな奏法 - 押し手 (左手) ・「さくらさくら」上級 <ul style="list-style-type: none"> - 「あさひになにおう」 ・「さくらさくら」上級 <ul style="list-style-type: none"> - 「さくら さくら (2回目)」 ・「さくらさくら」上級 <ul style="list-style-type: none"> - 「はなざかり」 ・いろいろな奏法 - 流し爪 (右手) ・「さくらさくら」上級 <ul style="list-style-type: none"> - 1 曲通して弾いてみよう ・生徒任意の項目 	<ul style="list-style-type: none"> ★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。 ★一面の箏を複数の生徒で使用している場合、箏を演奏していない生徒には唱歌を歌わせる。 ★各自のタブレット端末を見ながら練習。

ま と め 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ■「さくらさくら」上級を通して演奏する。 ■ワークシートに今日の授業の自己評価と課題を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さくらさくら」上級 - 1 曲通して弾いてみようの「練習」画面 	<ul style="list-style-type: none"> ★教師用 PC (又はタブレット端末) を大型モニターとつないで提示。
-----------------------	---	---	---

第四時

- ・学習内容：模範演奏と自身の演奏とを聴き比べ、表現の工夫をする。その後、グループ内で発表・評価し合う。
- ・めあて：より良い音色や響きを出すための工夫をしながら、「さくらさくら」を演奏しよう
- ・配布物：ワークシート「箏に親しもう 3」(ファイル名：k02_sheet3)

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
導 入 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ■本時の学習のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>より良い音色や響きを出すための工夫をしながら、 「さくらさくら」を演奏しよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ■復習として「さくらさくら」上級を1曲通して演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さくらさくら」上級 - 1 曲通して弾いてみようの「練習」画面 	<ul style="list-style-type: none"> ★教師用 PC (又はタブレット端末) を大型モニターとつないで提示。
50 分 展 開 40 分	<ul style="list-style-type: none"> ■「さくらさくら」上級の模範演奏を鑑賞し、自身の演奏と聴き比べて気付いたことを話し合い、ワークシートに記入する。 ■模範演奏のような箏らしい音色に近づけるために、個人練習を通じて表現の工夫をする。 ■グループ内で「さくらさくら」上級を発表し合う。 ■ワークシートに他の生徒の演奏について良かった点・改善すべき点を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さくらさくら」上級 - 1 曲通して弾いてみようの「練習」画面 ・生徒任意の項目 	<ul style="list-style-type: none"> ★教師用 PC (又はタブレット端末) を大型モニターとつないで提示。 ★各自のタブレット端末を見ながら個人練習。
ま と め 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ■ワークシートに箏授業全体の自己評価と感想を記入する。 		